

「著作権保護コンテンツ」

はじめに

この辞書は、現代日本語の基本語の中でも、特に多義性が高く、包括的な理解が困難であると思われる語を選び、中心義を中心とした語義のネットワークを示し、学習者および日本語教師に対し、語の理解を深め、運用を容易にすることを目的に作られています。同時に本辞書は、日本語辞書における新しい記述の方法を提案するものでもあります。第1巻では名詞 121、第2巻(2011年12月発売予定)では形容詞・副詞 84、第3巻(2012年1月発売予定)では動詞 104 を選び掲載しています。

従来、語彙は授業で扱われることが少なく、語彙学習は辞書などを用いながら、学習者が自分で行うことが少なくありませんでした。初級の学習者は教科書巻末の単語訳や対訳辞書、中級以降の学習者は電子辞書など日本人向けの大辞典を利用して、独学で語彙学習を行っていることが多いと思います。そのような中、学習者が一人でも語彙学習を進められるような有効な辞書はほとんど開発されてきませんでした。日本語の教員も語彙をどのように教えたらいいかと日々悩みつつも、参考とすべき辞書を見つけ出せずにいたのではないのでしょうか。

いわゆる日本語や国語の大辞典と呼ばれるものは、語義を古い順から記載したり、例文も日本語母語話者用のものであったりして、学習者の理解や運用に十分供するものとは言えませんでした。増え続ける語義をただ羅列することは語義のインフレーションを招き、学習者にさらなる負担を与えるのみで、意義の関連や全体的な意義像を示していないのが現状です。

とりわけ基本語彙は数多くの語義が辞書に掲載されており、学習者は中心義のみを覚えてその他の派生義は一向に覚えられない、母語の対応語が有する語義は覚えるが、そうでない語義は覚えられない、教えられた語義は覚えるが、その他の語義は覚えられないなどといった困難を感じてきました。さらにその語が持っている文化的な背景知識などについてはほとんど学ばれることなく置き去りにされていました。

そこで私たちは多義語に関する認知言語学の理論を用いて、学習者にとって真に重要な基本語のみを厳選し、その上で、中心義は何か、派生義にはどのようなものがあるか、語義の派生はどのような理由で展開したかを明示することで、複雑な多義語の意味を「意味のネットワーク」として一まとめに記述する辞書を編集しました。これにより、学習者は上述の語彙学習の困難点を克服し、中心義から派生義に至る語義全体を見通すことが可能になります。併せて本辞書では例文も学習者の視点から使用頻度やコロケーション（共起）、難易度を考慮して選ばれていますから、読んで理解しやすく、かつ実際の言語運用にすぐ用いることができます。また現代では用いられなくなった用法や、学習者にとってニーズの低い用法などはあえて掲載しないようにしていますから、最も効率よく語彙学習を進めていくことを可能にしています。さらに必要に応じて語の説明の最後には文化ノートや用法ノートを付し、その語が持っている文化的な背景知識や注意すべき文法項目も知ることができるようになっています。

私たち編集委員はこの試みを極めて意義あるものと捉え、出版元である株式会社アルクの全面的な協力の下、4年の月日を費やして世界中の学習者および先生方に歓迎される辞典を作成したいと考え本辞書を執筆してまいりました。最後になりましたが、このような執筆の機会を与えて下さった株式会社アルク日本語書籍編集部の大塚武司氏、田桑有美子氏に心から感謝いたします。

森山 新（主幹）・荒川 洋平・今井 新悟

目次

はじめに	2	ぎゃく	102
本書の構成	6	ぐあい	104
あいだ	22	くすり	106
あいて	25	くち	108
あし	27	くに	115
あじ	31	くび	118
あたま	34	くるま	121
あと	39	け	123
いなか	43	こえ	125
いま	45	こころ	127
うえ	47	こと	132
うしろ	51	ことば	137
うち	55	こども	139
うで	60	ごはん	141
うら	63	さかな	143
おとこ	66	さき	145
おとな	69	さけ	149
おもて	70	じかん	151
おわり	72	しごと	153
おんな	74	した	155
かお	77	じだい	158
かぜ	81	じぶん	160
かたち	83	しゅじん	162
かど	85	しゅみ	164
かね	87	しょうねん	165
かべ	89	しる	166
からだ	91	しるし	168
かわ	94	すえ	170
き	95	すじ	173
ぎゃく	100	すみ	176
		せかい	178

「著作権保護コンテンツ」

せき	180	はんたい	261
せわ	182	ひ (火)	263
せんせい	184	ひ (日)	267
そこ	186	ひかり	270
そと	188	ひだり	273
ただ	191	ひと	274
たね	193	ひとり	280
たま	196	びょうき	283
ちから	199	べつ	284
ちち	202	ほう	286
ちゃ	203	ほか	288
つき	206	ほし	289
て	208	まえ	292
てん	215	まわり	295
てんき	218	みぎ	298
とおり	220	みず	300
とき	222	みち	303
どく	225	みな	307
ところ	227	みみ	309
とし	231	むかし	312
とり	234	むし	314
なか	235	むね	318
なま	238	め	321
なみ	241	もの	326
にもつ	244	もん	330
ねつ	246	もんだい	332
ばか	249	やすみ	334
はな (花)	252	やま	336
はな (鼻)	254	やみ	339
はなし	256	ゆめ	341
はは	259	わき	343

Structure of This Book

Entry

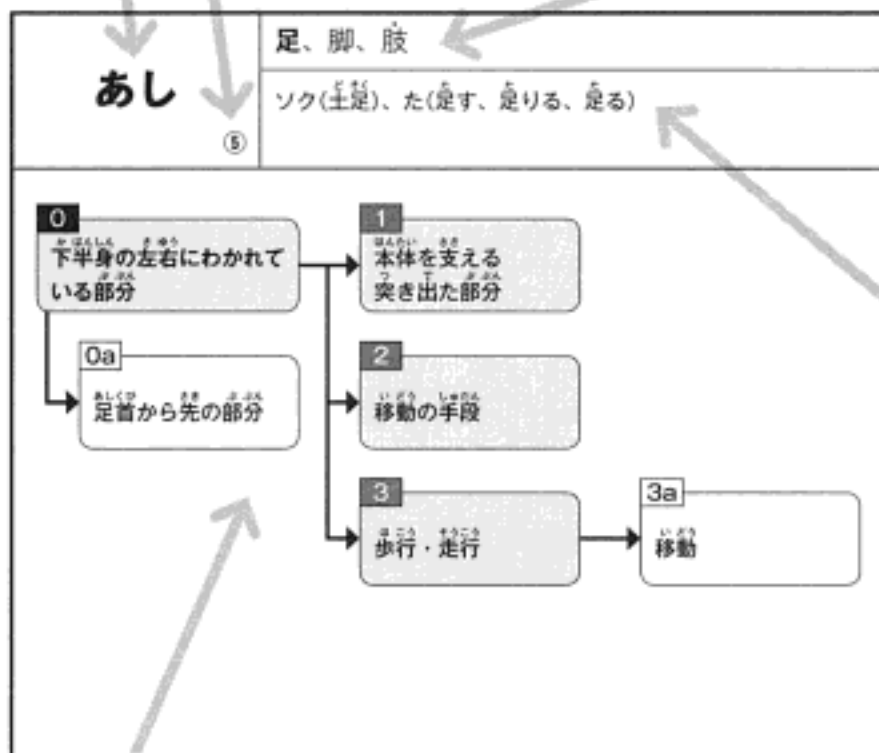
121 basic nouns with many meanings are presented as target words.

Difficulty level

Each entry is assigned a difficulty rating of 1 to 5, with 5 being the easiest.

Kanji

Kanji representations of the entry are listed here. The one in boldface best expresses the entry's meaning. Kanji capped with a dot are not Jōyō Kanji.



Readings

The readings of the boldface kanji are listed in katakana for on-yomi and in hiragana for kun-yomi. Examples are given in parentheses. When the entry is a kun-yomi word, it is listed here again, along with an example.

Network diagram: The way that each meaning derives from the core meaning is shown with arrows. The actual derivations are more complicated than indicated, but have been simplified where possible in keeping with this book's design as a learner's dictionary.

Core meaning: This is the meaning in modern usage that is considered the central meaning from which other meanings derive. It is marked with **0**.

Primary derivatives: These are the major meanings that derive from the core meaning, **0**. They are marked with numerals, as in **1**, **2**, **3**.

Secondary derivatives: These are extended meanings that stem from the core meaning or the primary derivatives. Since they represent comparatively slight differences in meaning that do not qualify as stand-alone derivatives, they are subordinated to **0**, **1**, **2**, **3**, etc. and are marked with letters of the alphabet, as in **0a**, **1a**, **1b**, **1c**.

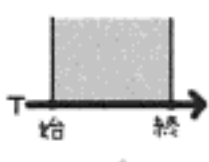
Meaning

Each meaning presented in the boxes in the network diagram is listed here again. To facilitate understanding, translations are provided in English, Korean, and Chinese.

Relationship with superior meaning

This line describes how the meaning derives from the core meaning or the primary derivative.

2 ある期間の中
during / 어떤 기간 내 / 某个期间内
 ① 挟まれた空間を区切られた期間と見なしたから



- 夏休みの間に、自動車免許をとった。
- 彼が買い物に行っている間に、部屋の掃除を済ませておこう。

合間：物事と物事との間の何もない時間
 例 仕事の合間にお茶を飲むべきで、遅じゃだめだ。

間が持たない：うまく会話が続き気まずくなる
 例 弟は無口なので、二人でいると間が持たない。

間を持たせる：空いた時間に別のことをして暇でないようにする
 例 講師が来るまで、司会者がうまく間を持たせてくれたのでほっとした。

Example sentences

Example sentences are provided for each meaning presented.

Compounds, idioms, etc.

Compound words, idioms, and other expressions the learner should know are also given.

Illustration

An illustration is provided to clarify the meaning. When the meaning cannot be easily depicted, the first example sentence is used as the basis for the illustration.

Also, for most entries, the illustrations can be used as a quick guide to the common meaning (schema) shared by the various meanings of the entry.

用法ノート 「女」はくだけた会話などで使う。それ以外は「女性」「女の人」などを使い、恋愛対象には「彼女」を使う。

文化ノート 「女子」は、かつては高校3年生くらいまでの女性を指していたが、現在では40代の女性までを指すことがあり、女性だけのパーティーが「女子会」という名で盛んに行われている。

→ おとこ (p66)

Usage notes

Distinctions in usage and other pointers on usage of the entry are given here.

Culture notes

This section provides background information on how the entry is used in the context of Japanese culture.

Cross-reference

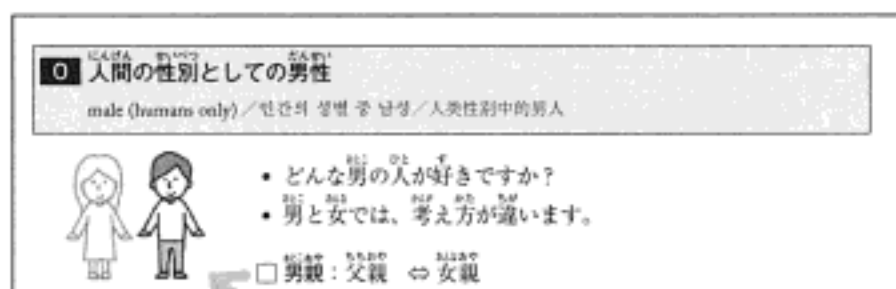
Other entries that can be of reference (synonyms, antonyms, etc.) are listed here with their page number.

Distinctions in kanji usage

In cases where an entry has multiple kanji listed for it (e.g., あし : 足 脚 肢), users should refer to the example sentences to gain an understanding of the distinctions in usage between those kanji. Particularly important distinctions are explained in the supplementary information (marked with asterisks).

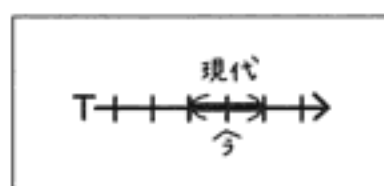
Illustrations

(1) In illustrations that contain multiple elements, such as contrasts (as in the male/female illustration shown below), the element that depicts the target meaning is generally placed on the right and/or rendered in darker shading (see below).



This illustration conveys the target meaning 人間の性別としての男性.

(2) Arrows with a "T" on the left represent time frames that help express the meaning.



Symbols

□	Compound words, etc.
句	Idioms, proverbs
*	Supplementary information
⇔	Antonyms
☞	Cross-reference
cf	Transmuted words (changed into a different part of speech, such as: verb to noun, or noun to verb)
/	Words that can be used in the same pattern Ex: 口に合う／合わない
☐	Collocations Ex: ごはん ☐ 朝／昼／晩ごはん
≒	Synonyms
[]	Omissible words/particles Ex: 風上に [も] 置けない
()	Contextual description Ex: (会社で)「部長、お客様です。」

Parts of speech

For compound words, etc. (marked with □), the following symbols are used to indicate the parts of speech other than noun.

イ	<i>I</i> -adjective
ナ	<i>Na</i> -adjective
副	Adverb
体	Adnominal
スル	<i>Suru</i> -verb
動Ⅰ	<i>U</i> -verb (Group I verb)
動Ⅱ	<i>Ru</i> -verb(Group II verb)
動Ⅲ	Irregular verb (Group III verb)

<h1>あいだ</h1> <p>④</p>	<h2>間</h2>
	カン(間接)、ケン(世間)、ま(客間)

0

ふた はさ ところ
二つに挟まれた所

→

1

ある 集団の中

2

ある 期間の中

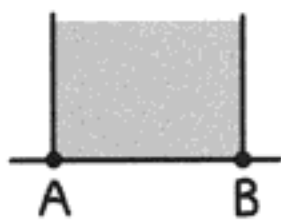
3

ふた 二つの中間点

4

両者の 仲・関係

0 二つに挟まれた所
 located between (two people/things/etc.) / 두 물체 사이의 공간 / 夹在两个之间的地方



- 私は父と母の間に座った。
- 今、犯人の車は川崎と横浜の間を走っている。

- 句** 垣間見る：物事の一部分をうかがい知る
 例) 彼の発言から、その事件の重大さが垣間見えた。
- 句** 間髪を入れず：まったく時間を置かずにすぐ
 例) 大臣は、記者の質問に間髪を入れず答えた。

1 ある集団の中

among / 어떤 집단 내 / 某个集体内

② 二つを多数に拡大して考えているから

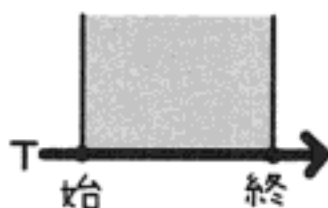


- この商品は、外国人観光客の間で土産物として人気がある。
- そのアーティストなら、この街の若者の間ではすでに有名人だ。

2 ある期間の中

during / 어떤 기간 내 / 某个期间内

② 挟まれた空間を区切られた期間と見なしたから



- 夏休みの間に、自動車免許をとった。
- 彼が買い物に行っている間に、部屋の掃除を済ませておこう。

□ 合間：物事と物事の間で何もない時間

例) 仕事の合間にお茶を飲むべきで、逆じゃダメだ。

句 間が持たない：うまく会話が続き気まずくなる

例) 弟は無口なので、二人でいると間が持たない。

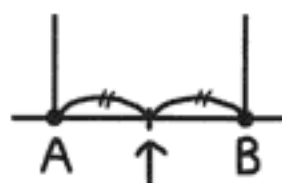
句 間を持たせる：空いた時間に別のことをして暇でないようにする

例) 講師が来るまで、司会者がうまく間を持たせてくれたのでほっとした。

3 二つの中間点

middle ground, midpoint / 둘의 중간점 / 两者的中间点

② 中間点は間における典型的なものと考えられるから



- 二人の意見の間を取って、このような結論に達した。
- じゃあ、間を取って、謝礼は二万円とします。

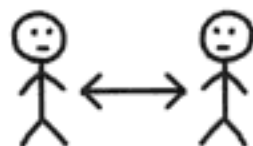
* ③ の用法では、「間を取る」という形で用いる。

□ 中間：二つの物のほぼ真ん中

4 両者の仲・関係

relationship between (two people/things/etc.) / 양자의 사이·관계 / 両者的交情、关系

② 空間を挟んで向き合った結果だから



- この事件が二人の間を大きく隔ててしまった。
- 日本と韓国の間には、さまざまな習慣の違いがある。
- 夢と現実の間のギャップは大きかった。

③ 間に立つ：対立している二者の間に関わって、事態を収める
 例) 議論の末、結局、夫婦の間に弁護士が立った。

あいて ③	相手

0
なに いっしょ おこな
 何かを一緒に
いっぼう
 行うもう一方

→

1
いっしょ なに
 一緒に何かを
あ
 する付き合い

2
たいこう ひと だんたい
 対抗する人
 や団体

3
はたら たいしやう
 働きかける
 対象

0 なに いっしょ おこな いっぼう 何かを一緒に
 行うもう一方

partner, the other party / 어떤 행동을 함께 하는 상대 / 一起做事的另一方



- けっこんあいて としやうえ 結婚相手は年上がいい。
- ちゃんと目を見て話さないと、あいて たい しつれい 相手に対して失礼です。

1 一緒に何かをする付き合い

companion / 함께 무언가를 하는 행위 / 一起做事的伙伴

? あいて いっしょ 一緒に 行う 行動 だから
相手と一緒に行動だから

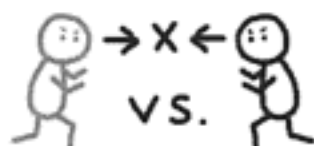


- 連休中はずっと子供の相手だった。
- 核家族化で、お年寄りの相手ができない若者が増えた。

2 対抗する人や団体

opponent / 대항하는 사람이나 단체 / 对抗的人和团体

? あいて なか とく しあい たいこう ばあい いみ しぼ
相手の中で、特に試合などの対抗する場合に意味を絞ったから



- 次の試合の相手は強いらしいよ。
- 相手が弱いからといって、手を抜いては勝てない。

3 働きかける対象

target of some action / 힘을 행사하여 그 힘이 작용하는 대상 / 工作的对象

? あいて なか とく ばたら か たいさ ばあい いみ しぼ
相手の中で、特にこちらから働き掛けを行う場合に意味を絞ったから



- 相馬氏は自分を懲戒免職にした会社を相手に、裁判を起こした。
- 彼女は週一回、留学生を相手に茶道を教えている。

あし ⑤	足、脚、肢
	ソク(土足)、た(足す、足りる、足る)

0 かはんしん さゆう
下半身の左右にわかれている部分

0a あしくび さきぶぶん
足首から先の部分

1 ほんたい さき
本体を支える
突き出た部分

2 いどう しゅだん
移動の手段

3 ほこう そうこう
歩行・走行

3a いどう
移動

```

graph TD
    0 --> 0a
    0 --> 1
    0 --> 2
    0 --> 3
    3 --> 3a
  
```

0 かはんしん さゆう 下半身の左右にわかれている部分 ぶぶん

leg (of a human/animal) / 하반신의 좌우로 나뉘어진 부분 / 下半身左右分开的部分



- かのじょ 彼女はモデルのように足が長い。
- よこ そこに横になって足を伸ばしてください。

あしあと 足跡: ① ある 歩いた後に残った足の形 あし かたち

例) きょうりゅう これは恐竜の足跡ではないだろうか。

② ひと 人が残した業績 ざうせき

例) はかせ 博士の考察は、かがく 化学の発展に大きな足跡を残した。

*この場合、普通「そくせき」と言う。

あしおと 足音: ほこう 歩行・走行時の足の音 おと

あしで 足手まとい て 手や足にまつわりついて こうどう 行動の自由 まじら を妨げる

<p>きやく</p> <p>④</p>	<p>客</p>
	<p>キヤク(乗客)、カク(旅客)</p>

0 用事ようじがあつて訪ねてくる人ひと → **1** 物品ぶつびんやサービスサービスを求め人もとめひと

↓

0a 招かれた人まねかたひと

0 用事ようじがあつて訪ねてくる人ひと
 visitor / 용건이 있어 방문하는 사람 / 有事来訪者



- 忙しいいそがところへ急きゆうな客きやくが来きて困こまった。
- (会社かいしゃで)「部長ぶちやう、お客様きやくさまです」

0a 招かれた人まねかたひと
 guest / 초대받은 사람 / 受邀者

? 客きやくの中なかで、特とくに招待しょうたいされて来きる客きやくを表あらわす



- 今日きょう、うちにお客きやくさんさんが来きるのでケークやを焼やきます。
 - 事務所じむしょ開ひらきのパーティーぱーてぃーに、客きやくがたたくさんさん来きてくれた。
- 客間きやくま：家いえの中なかで、お客きやくさんさんを応対おうたいするたための部へや屋や

1 物品やサービスを求める人

customer, guest (hotels, etc.) / 물품이나 서비스를 요구하는 사람 / 要求物品和服务的人

❓ 客の中で、特に買い物客や顧客を表す



- あのレストランは若い客に人気がある。
- 映画館の前には、たくさんの客が並んでいる。
- 当ホテルでは、外国人のお客様向けのサービスが充実しております。

- 客室：ホテルなどで客が泊まる部屋
- 客席：映画館や劇場などで客が座る所
- 観客：映画、劇、スポーツなどをその場所に行き見て見る人
- 乗客：交通機関を利用する人
- 旅客機：人の輸送を目的とした飛行機

ぎやく ②	逆
	ギャク(逆転)、さか(逆らう)

0
じゆんじゆ ほうこう はんたい
順序や方向が反対である
こと

→

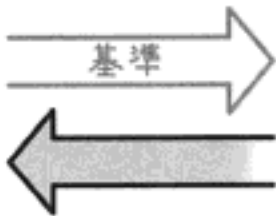
1
たいりつ たちば
対立する立場

0
じゆんじゆ ほうこう はんたい
順序や方向が反対である
こと

→

2
つうじゆう こと けつ け
通常とは異なる結果

0 <small>じゆんじゆ ほうこう はんたい</small> 順序や方向が反対であること reverse (order), opposite (direction) / 순서나 방향이 반대임 / 与顺序、方向相反

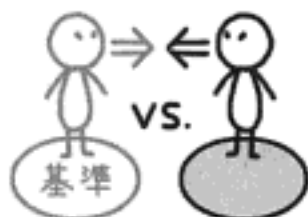


- ぎやく ほうこう でんしゃ の 逆の方向の電車に乗ってしまった。
 - この暗号は、あんごう ぎやく よ いみ ことば 逆から読むと意味のある言葉になる。
- さか 逆さま **ナ** : ものごと いち じやうたい かんけい ほんらい はんたい 物事の位置・状態などの関係が本来と反対になっていること
- 例) この箱は逆さまに置かないよう気をつけてください。
- 逆立ち **スレ** : りやうて じめん りやうあし うえ た 両手を地面につけ、両足を上にして立つこと
- 句** さかだ 逆立ちしても～できない : がんば どんなに頑張っても～できない
- 例) 逆立ちしても、ゴルフでタイガー・ウッズに勝つなんてできないよ。

1 対立する立場

opposing / 대립된 입장 / 对立的立場

相手の立場が、自分の立場に対して反対だから



- 逆の意見ばかりを言われて、腹が立った。
- 役員全員の見通しが私とは逆だから、計画はあきらめるほかない。

反逆 **スレ** : 権力や権威に対して逆らうこと

真逆 : まったく逆。まるで正反対 * 俗語

例) 彼女は新作映画で、今回とは真逆のすごい悪女を演じるそうだ。

2 通常とは異なる結果

contrary (to expectations) / 평소와는 다른 결과 / 和通常不同的結果

普通に予想される結果に対して反対だから



- この薬は使い方を間違えると、まったく逆の効果が出る危険性がある。
- みんなから慰められて、逆に泣きたい気持ちになった。